

2024 年度後期

武蔵野学院大学大学院 武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

学生満足度調査に関する報告書

(要約版)

2025 年 3 月

武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

IR 委員会

※本報告書は HP 上（学外公開用）の要約版です。自由記述欄に関する文言・図表など、
個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では一部の内容を割愛しています。

2024 年度 学生満足度調査 結果報告書

1. 2024 年度学生満足度調査 実施概要

- 1) 実施期間：2024 年 12 月 13 日（水）8：30 ～ 2025 年 1 月 17 日（水）19：00
- 2) 実施方法：Web システム「Musashino Academic Station（以下、MAS）」を利用して回答。
- 4) 質問項目：選択式（5 件法）による設問 16 問および自由記述式の設問 1 問 計 17 問（表 1）。

2. 回答者の内訳

学生の総数は 527 人で、うち大学・大学院：383 人、短期大学：144 人であった。回答者の総数は 189 人で、うち大学・大学院：93 人（1 年：20 人、2 年：28 人、3 年：14 人、4 年生以上+院生：31 人）、短期大学：96 人（1 年：44 人、2 年：52 人）であった。回答率は大学・大学院 24.7%、短大 66.7% であった。大学院は母数が少ないことから、大学 4 年生以上に含めた。

3. 項目別評価

学生満足度調査は選択式の設問 16 問、自由記述式の設問 1 問の計 17 問で構成されている。選択式の問いについては、「a(5):そう思う」「b(4):ややそう思う」「c(3):どちらとも言えない」「d(2):あまりそう思わない」「e(1):そう思わない」の 5 件法による回答を依頼した。表 1 に選択式の設問内容と平均値を示した（数値は全て小数第 3 位を四捨五入）。

表 1. 学生満足度調査 選択式設問および各年度の平均値

設 問	内 容	大学 (2024)	短大 (2024)
1	（大学・大学院）大学で留学生や日本人の友達がたくさんできましたか。 （短大）友達がたくさんできましたか。	2.56	3.95
2	資格取得のため積極的に頑張りましたか。	3.28	4.35
3	夏休みや冬休みを有効に活用しましたか。	2.32	4.26
4	あなたの学生生活は楽しかったですか。	1.98	4.31
5	大学生活で精神的なおおいに成長したと思いますか。	2.09	4.31
6	大学生活で学んだことが将来役立つと思いますか。	2.10	4.79
7	学生生活を振り返って満足していますか。	2.31	4.36
8	保証人等はあなたの大学生活を十分に理解していましたか。	1.69	4.59
9	授業以外で、先生や職員と適切に（短大：有効に）連絡や相談を行いましたか。	2.28	4.28
10	先生や職員の対応はおおむね明るく丁寧でしたか。	1.63	4.67
11	大学は適切な学習環境を提供していましたか。	1.94	4.55
12	就職活動の支援を有効に活用しましたか。	2.85	3.10
13	保健室・学生相談室を有効に活用しましたか。	3.62	3.10
14	事務局をはじめ学生生活に必要な部署との相談を有効に活用しましたか。	2.52	4.17
15	スクールバスを有効に利用しましたか。（※利用した学生の回答のみ抽出）	2.53	3.81

16	校舎の改修（2号館のプロジェクター設置等）は快適な教育環境をさらに提供しましたか。	1.97	4.04
-	全体平均	2.35	4.23

※他、自由記述1問：その他、何かご意見等ありましたらお書きください。

学年間の比較

大学院生の人数を除き、比較を行った結果、大学では、特に設問1（Hedges' $g = 0.73$ ）では、3年生で低下し、4年生で回復する傾向があった。また、設問9（Hedges' $g = 1.05$ ）は就職活動に関わる項目であることから、1～2年生の平均値は低く、3年生で急激に上がりそのまま維持されるといった差が見られた。短期大学では特筆すべき差は見られなかった。

4. 自由記述でみられた特徴

自由記述では、「何かご意見等ありましたらお書きください」の1問を設定した。回答について、「特になし」またはそれに類する回答を除き、大学・大学院36(昨年度33)件、短期大学26(昨年度31)件、計62件(昨年度64件)の回答が得られた(複数回答含む)。

得られた回答を頻出単語順に分類したところ、「バス(本数、時刻、授業など)」、「喫煙所」の順で分類され、これらへの意見が大半であった。その他「食堂・購買に関するもの」、「レクリエーション」、「その他」に大別された。昨年度多く見られた「トイレ」に関する意見は大きく減少した。

※自由記述欄の内容については、個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では傾向の記述に留め、具体的な回答およびワードクラウドを含めた図表は割愛しております。

今後に向けて（抜粋）

- ・2025年度からは実施時期と結果の公表を前倒しすることで、年度内に対応できるよう努める。
- ・結果の公表および対応の報告を通じて、双方向性の確保を目指す。

ご意見・お問い合わせ先

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 ディスクロージャー

(学内版ではQRコードを添付)

以上